

「トキの野生復帰を目指す里地」への応募等について

1. 「トキの野生復帰を目指す里地」への応募について

今後の本州等でのトキの野生復帰を目指し、実質的な放鳥候補地となる「トキと共生する里地づくり取組地域」の公募が開始されました。市内でのトキの野生復帰を目指し、「トキと共生する里地づくり取組地域」への応募書類を提出しました。

(1) 「トキと共生する里地づくり取組地域」公募の概要

① 公募期間 5月10日～6月30日

② 公募地域

A地域：トキの野生復帰を目指す里地

(実質的な放鳥候補地)

B地域：トキとの共生を目指す里地

(放鳥は目指さないがトキが飛来できる環境の整備を目指す地域)

※ 出雲市は、A地域（トキの野生復帰を目指す里地）に応募しました。

③ A地域の主な選定要件

- i 地方公共団体が取組主体であること
- ii 取組範囲の面積が 15,000ha 以上であること
- iii 地域ぐるみで環境整備を行う体制ができていること
- iv 原則として、過去にトキの生息実績があること

④ 審査方法とスケジュール

i 選定委員会

環境省自然環境局長、各有識者等で構成される選定委員会で審査

ii スケジュール

審査は7月に行い、8月上旬に結果が発表される予定

iii 審査内容等

A地域については、③の選定要件のほか、トキに関する知見・経験等、取組方針を審査し、3地域程度が選出される予定。

(2) 他の自治体の状況

石川県と能登地域4市5町（珠洲市・輪島市・七尾市・羽咋市・能登町・穴水町・志賀町・中能登町・宝達志水町）が合同で書類を提出済

2. 令和4年 トキの分散飼育の状況について

(1) 取組方針

国のトキ野生復帰検討会の方針に基づき、『自然繁殖（自然ふ化、自然育雛）』を基本として、B Zペア、C Lペア及びC Mペアの計3組（6羽）で繁殖に取り組みました。繁殖直前にC Mペアのオスが事故で骨折し、繁殖に参加できませんでした。

(2) ふ化状況

令和4年の繁殖期には、3月29日に初の産卵を確認したあと、計10個の産卵があり、7羽のヒナがふ化しました。うち3羽が人工ふ化、4羽が自然ふ化でした。

(3) 育雛状況

B Zペアは、自分のヒナとC Lペアのヒナ2羽（仮親）の計3羽、C Lペアは、自分のヒナ4羽を育雛しています。

令和4年繁殖結果					単位（個・羽）
	産卵数	有精卵	無精卵	不明	ふ化数
B Z ペア	4	1	2	1	1（人工）
C L ペア	6	6	0	0	6（人工2、自然4）
C M ペア	－	－	－	－	－

※不明とは、破卵・巣外投棄・腐敗などにより、有精無精の判定ができなかったもの。

※C Mペアは、繁殖直前に♂が骨折したため、繁殖に参加できなかった。



3. トキ一般公開の状況について

入場者数

4～5月				通年			
	開館日数	入場者数	平均	開館期間	開館日数	入場者数	平均
R 4	53日	10,057人	190人				
R 3	53日	8,364人	157人	4～3月	307日	23,352人	76人
R 2	－	－		7～3月	233日	15,099人	65人
R 1	－	－		7～12月	159日	16,634人	107人

1日あたり 平日最高 247 人(R4.5.2) 休日最高 1,002 人 (R3.5.3)